

「画像センシング展 2021」に出展しました

6 月 9 日(水)～6 月 11 日(金)にパシフィコ横浜で開催された「画像センシング展 2021」にて企業出展を行いました。ブースへ足を運んでくださった方々に感謝申し上げます。

当日は、以下のプロダクトを展示にてご紹介いたしました。

- ・ 製造業向け外観検査ソフトウェア『gLupe』
- ・ ISP-AI×ロボティクス『分散型エッジ AI ソリューション』
- ・ コンクリートのひび割れ検出エンジン『ひびここ』



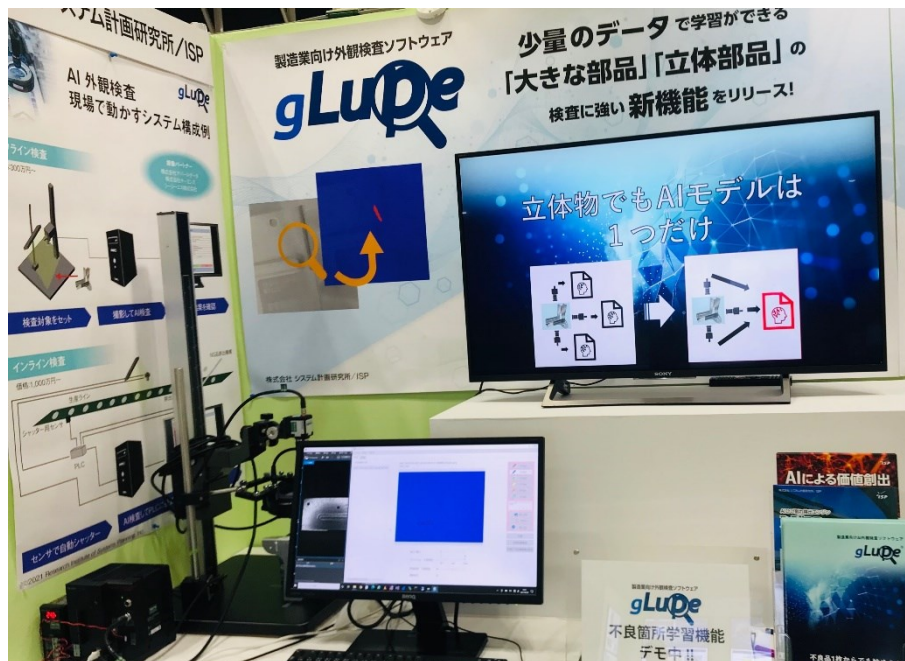
出展ブースの様子です。

● 製造業向け外観検査ソフトウェア **gLupe**

数枚のデータから AI 構築が可能

Deep Learning を応用した外観検査用ソフトウェア「gLupe（ジールーペ）」。

今回の展示では、新しい異常検知機能「不良個所の学習」についてもご紹介しました。少量の良品データのみで学習を行うこれまでの異常検知機能「良品学習」に対し、不良品データ 1 枚から学習が可能な機能となっています。検査対象物の見た目のバリエーションが多い場合や細かい検出に有効です。導入後も生産現場にて追加学習を行うことで、さらなる精度向上や新製品への対応も可能です。



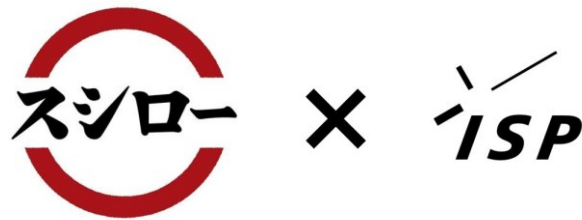
- 製造業向け外観検査ソフトウェア『gLupe』の製品サイトはこちら
<https://glupe.jp/>

● ISP エッジ AI

従来手法では実現が困難な業務自動化をエッジ AI で実現

深層学習／画像処理技術を活用し、ルール化しにくいノウハウをビジネスロジックに昇華し、コンパクトなハードウェアに封じ込めたパッケージを実現します。カスタマイズした画像認識 AI と GPU による高速な画像処理によるリアルタイム処理を、現場に設置可能なオリジナル AI 端末で実現します。現場運用と共に育つシステムを構築します。

エッジ AI ソリューションは事例として、株式会社あきんどスシロー様の実店舗に「自動会計システム」として導入いただきました。



○ プレスリリース：AI により回転すし会計の自動化を実現

<http://staging.isp.co.jp/archives/NewsRelease-isp-20201202.pdf>

● コンクリートのひび割れ検出エンジン ひびここ

インフラ劣化検査を強力サポート、コスト・負荷を削減

コンクリート構造物等の撮影画像から、ひび割れ検出を実現するための学習機能を持った解析ソフトウェアです。使用する環境や用途に合わせてカスタマイズを行うことができるため、柔軟な対応が可能です。カスタマイズには新規の学習が必要となりますが、「ひびここ」は少量のデータからイテレーティブにひび割れの検出精度を向上させることができます。

ブースでは、実際にひび割れ写真をカメラで映しながらリアルタイムでひび割れを検出するデモ展示を行いました。



○ コンクリートのひび割れ検出エンジン『ひびここ』の製品サイトはこちら

<https://www.hibikoko.com/>

● 関連リンク

- ・ 画像センシング展 公式サイト
<https://www.adcom-media.co.jp/iss/>
- ・ システム計画研究所 人工知能事業 プロダクト・サービス
<https://www.isp.co.jp/products/ai/>

■ 本件に関するお問い合わせ先

展示物、出展内容に関するお問い合わせは、以下より受け付けております。

Tel : 03-4589-0232

Mail : ai-contact@isp.co.jp